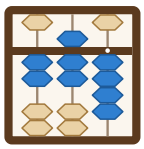
そろばん



見取算の 赤字と 補数

こたえ

ポイント

ひけない ときは 1を かりて ひき、補数を よんで「−」を つける。

きまり ① かりる くらいは 問題の 数を ぜんぶ 見て きめる（いちばん けたの 多い 数の 1つ 上。6けたの 数が あれば 百万）。とちゅうの マイナスも かりた 1より 小さいか、さいごまで たしかめる（大きく なるなら もう 1つ 上の くらいから かりる）。
② こたえ＝−（かりた くらいの 1が あらわす 数 − そろばんの 数）
③ 補数：いちばん 右の 0で ない 数字は 10から、その 左は かりた くらいの すぐ 右まで 9から ひく。右の 0は そのまま。れい：8,000（万から かりた）→ −（10,000−8,000）＝−2,000
④ くり上がりが かりた くらいに とどいたら、1を かえして ふつうに よむ。

1 赤字の そろばんを よんで、こたえを かきましょう。

1つ5てん（20てん） きほん

(1) 3700 万から かりた **−6,300**
(2) 6315 万から かりた **−3,685**
(3) 72940 十万から かりた **−27,060**
(4) 905168 百万から かりた **−94,832**

2 れい：とちゅうで 赤字に なる 見取算

とちゅう 1つ5てん・こたえ 10てん（30てん） きほん

42615
−87930
23408
60352



42615を おく → 87930を ひく（十万に 1を かりる） → 23408を たす → 60352を たす（1を かえす）

① 数は 5けたまで → 十万から かりる（かりた 1＝100,000。とちゅうの マイナスも これより 小さい）。42615−87930 → そろばん **54,685**。こたえ＝−（100,000−54,685）＝ **−45,315**

② 23408を たす → そろばんは **78,093**（まだ 赤字）→ こたえ＝−（100,000−78,093）＝ **−21,907**

③ 60352を たす → くり上がりが 十万の くらいに とどいて、かりた 1を かえす → こたえ **38,445**

3 たての しきを けいさんしましょう（赤字に なる もんだい）。

1つ10てん（50てん） きほん

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
6857	43870	90674	8252	20118
1357	−47173	86974	−29158	92169
1479	72013	−264254	71003	2691
−134922	74203	−8463	6500	−742315
−89735	−45372	−384145	27693	1153
7381	−5175	6611	6489	87398
−91880	7887	−1911	−94023	−8692
253736	71374	5961	218383	−45393
−45,727	**171,627**	**−468,553**	**215,139**	**−592,871**

※ (1)(3)(4)(5)は 百万、(2)は 十万の くらいから 1を かりる（どれも さいごまで けいさん できます）。

✎ こたえの 整数の ぶぶんは、3けたごとに コンマ（,）を つけましょう。コンマと 小数点（.）を くべつして かきましょう。

(1)（百万の くらいから かりる） とちゅう 8,214→9,693→−125,229→−214,964→−207,583→−299,463→−45,727

こたえを みたら、もう いちど やってみよう。 あかい じが こたえ。